

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準現代の国語』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア四訂版』大修館書店『明鏡国語辞典 第三版』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通し、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることや、成人年齢の引き下げを考慮し

- ①基本的な言語活動の習得を重視し、常用漢字や言葉の使い方の習得を目指します。
- ②積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	各領域において、論理的思考力や深い共感性や豊かな想像力を伸ばし、他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	各領域において、論理的思考力や深い共感性や豊かな想像力を伸ばし、他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以下の観点を踏まえ ・定期テスト、小テストの分析 ・授業の取り組み(出席状況、授業態度、音読、漢字学習など)の観察 ・ワークシート等の提出内容の確認 などから評価します。	以下の観点を踏まえ ・定期テスト、振り返りシートの分析 ・授業の取り組み(出席状況、授業態度、発表や討論など)の観察 ・ワークシート等の提出内容の確認 などから評価します。	以下の観点を踏まえ ・振り返りシートの分析 ・授業の取り組み(出席状況、授業態度、発言や討論など)の観察 ・ワークシート等の提出内容の確認 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法

4	世界を広げる	5「C 読むこと」	「なぜ本を読むのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字や語彙を文や文章の中で活用する。 ・筆者の考える読書の効用について文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。 	a b c	授業態度 発表・討論の様子 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
5 6	人間と文化	15「C 読むこと」	「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字や語彙を文や文章の中で活用する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	a b c	
7	話して伝える	5「A 話すこと・聞くこと」	「話し方の工夫」	<ul style="list-style-type: none"> ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 	b c	授業態度 発表・討論の様子 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
8	生活の中の表現	5「A 話すこと・聞くこと」	「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	<ul style="list-style-type: none"> ・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 ・異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 	b c	

9	社会と人間	10「B 書くこと」	「人はなぜ仕事をするのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字や語彙を文や文章の中で活用する。 ・筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 	a b c	授業態度 発表・討論の様子 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
10	書いて伝える	10「B 書くこと」	「書き方の基礎レッスン」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字や語彙を文や文章の中で活用する。 ・表記や表現の基本ルールを理解する。 	a b	
11 12	話して伝える	10「A 話すこと・聞くこと」	「スピーチで自分を伝える」	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の薦めたい本」について他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 	b c	
1 2 3	現代と社会	10「B 書くこと」	「黄色い花束」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字や語彙を文や文章の中で活用する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 	a b c	授業態度 発表・討論の様子 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート

計 70 時間 (50 分授業)

領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 20 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 20 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・毎時間『常用漢字ダブルクリア四訂版』を使って漢字学習をします。
- ・授業はワークシートを使って行い、提出した内容等で「主体的に学習に取り組む態度」を見ます。

7 担当者からの一言

・「現代の国語」は実社会、実生活に役立つ国語の能力を育成する科目です。特に社会で役立つ漢字や表現など基礎的な語彙はしっかり身に付けましょう。小テストや考査で成果をみせてもらいます。授業ではワークシートを使って学習を深めますが、人と話した内容や自分が考えたり発言したりする内容などもワークシートにまとめていきます。積極的に授業に参加してください。(担当：遠山・渡邊)